

| | | | | | | | |
|-----|-----------|-----|-------------------|----|----|-----|---|
| 科目名 | 国際母子保健論特講 | 担当者 | イケガミ キョコ 池上 清子 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|-----------|-----|-------------------|----|----|-----|---|

【科目概要】

| | | | |
|---------|---|-------|--|
| 目的 | <p>現代の世界の保健医療は二極化が進んでいるといえます。先進国では保健医療の科学的進歩が加速化し、高度医療が推進される一方、開発途上国では社会的に弱い立場にある女性そして子どもの基本的な健康が脅かされ続けています。世界の妊産婦の死亡のほとんどが途上国で起きていることから分かるように、適格な対処が行われていれば、母子の健康は守ることができます。</p> <p>本科目では地球規模で取り組むべき母子保健及びリプロダクティブヘルス／ライツの問題について、様々な観点から学際的に捉え学ぶことを目的とします。</p> | | |
| 到達目標 | <p>世界、特に開発途上国での母子保健やリプロダクティブヘルスについて、歴史的な経過と現代の諸問題を、教材や関連統計指標などから把握し、理解することができる。</p> <p>日本と世界の母子保健やリプロダクティブヘルス／ライツの問題や教育や社会など関連する事柄について、学際的に捉え包括的に理解する。</p> | | |
| 学修方法 | <p>レポート課題にそって、教材や参考図書を基盤に課題をまとめる。ただし、提示した教材だけでは、説明が充分ではないと思われる場合は、Web や図書、雑誌掲載論文に自らあたって学習を進めていく必要がある。</p> | | |
| スケジュール | <p>前期：教材1のレポート課題の草稿は7月末までに提出し、9月中旬までには最終稿を提出する。</p> <p>後期：教材2のレポート課題の草稿は11月末までに提出し、翌年1月課題提出締切日までに、最終稿を提出する。</p> | | |
| 成績評価 | 種別 | 割合 | 評価基準 |
| | レポート内容 | 100 % | <p>レポート内容について以下のように評価する。</p> <p>レポート内容が適切であるか。</p> <p>レポートの記述は論理的に展開され、説得力があるか。</p> <p>レポートの構成は内容に合致したものであるか。</p> <p>自ら文献にあたり、正しくレポート内に引用されているか。</p> <p>独自性がレポートに現れているか。</p> |
| | 平常評価 | % | |
| 履修者への要望 | <p>母子保健やリプロダクティブヘルス／ライツは、先進国と開発途上国の間の格差が大きい問題だといえます。教材や指標などから、その格差を明確に捉えることは難しいかもしれませんが、想像力を駆使し、取り組んでください。</p> <p>また国際母子保健を理解するには、日本のことも十分理解しておくことが重要となります。日々の生活やメディアなどの報道にも学びの種がありますので、情報収集のアンテナを立てておきましょう。</p> | | |

【レポート課題】

| 基本教材 1 | |
|----------|---|
| 教材の概要 | 著者名： 国際保健医療学会編 教材名： 『国際保健医療学』（杏林書院，2013年）ISBN:978-4-33764405318 3,200円+税 国際保健及び関連する多くの領域の基本的事項が網羅的に記述されています。国際保健という大きなくりの中の母子保健やリプロダクティブヘルス／ライツを捉えることで、その特殊性や周辺領域との関連性についても学ぶことができます。 |
| 参考図書 | 丸井英二・森口育子・李節子 『国際看護・国際保健』（弘文堂，2012年）ISBN:978-4-335760167 2,400円+税 国連人口基金（UNFPA） 『世界人口白書 2013』（和文，国連人口基金東京事務所からダウンロード可）2013 |
| 履修上のポイント | 教材は課題に該当する箇所だけではなく、その他のページも十分に読み込む必要があります。保健全体における母子保健やリプロダクティブヘルス／ライツの在り様や、関連する領域などを理解するようにするとよいでしょう。 |
| レポート課題 1 | 1994年カイロ会議から現在の、母子保健・リプロダクティブヘルスの世界的な動きについてまとめてください。 留意点： ミレニアム開発目標をキーワードに含めて論じてください。 |
| レポート課題 2 | 開発途上国の母子保健やリプロダクティブヘルスに関して、以下の項目について具体例を挙げてまとめてください。 ①若年妊娠 ②妊産婦死亡 ③家族計画 |

| 基本教材 2 | |
|----------|--|
| 教材の概要 | 著者名： 我部山キヨ子・毛利多恵子 教材名： 『地域母子保健・国際母子保健』（医学書院，2010）ISBN-13: 978-4260009713 3,300円+税 著者名： 国連人口基金（UNFPA） 教材名： 『世界人口白書 2013』（和文，国連人口基金東京事務所からダウンロード可）2013 『地域母子保健・国際母子保健』は助産学を学ぶための教科書ですが、日本そして世界の母子保健についてまとめられています。 『世界人口白書』は国連人口基金が発行する報告書です。巻末には地球規模の母子保健の現状を知るうえで重要となる、各国の指標が提示されています。 |
| 参考図書 | |
| 履修上のポイント | 保健分野は統計指標が様々な施策の根拠になることが多いですが、実際の母子保健の現場は個々の生活の一場面です。そうした場面を想像しながら記述するとよいでしょう。 |
| レポート課題 1 | 『世界人口白書 2013』のp100以降の統計指標を用いて、世界の母子保健について考察できることを述べてください。 留意点： ①妊産婦死亡率といった健康の指標に、人口指標、教育の指標、リプロダクティブヘルスの指標などが、それぞれどのように関連しているかを数値から拾い、その根拠となることを情報収集しまとめましょう。 ②国ごとのまとめ、地域ごとのまとめ、過去の統計指標との比較など考察する内容や方法は自由に選択し、記述してください。 ③数値にとどまらず、当該国の文化や宗教、政治など学際的に情報を集め、母子保健と関連させて考察してください。 |
| レポート課題 2 | 日本の母子保健における施策やシステムの中で、開発途上国における母子保健に有用であると思われるものを選び、その根拠やそれに対する自身の考えをまとめてください。 留意点： 施策名にとどまらず、生活の場面など具体例を挙げて記述するとよい。 |